

しみん基金・K O B E

NEWS

Vol.37

2015年12月号



認定 NPO 法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

「黒田裕子さん」とともに

被災地の天使と慕われてきた

「黒田裕子さん」を、追悼するフォーラムをこうへまちづくり会館で開催しました。もともとと大きな会場を準備しなければと反省するほど、実に多くの皆さんにご参加いただきました。参加された人の熱い思いがひしひしと伝わってきて黒田さんの先導性と包容力の大きさを改めて感じる事ができました。

フォーラムですが、黒田さんの「二度死んだかもしれない命、精一杯被災者のために身を捧げたい！」という原点から導き出される、「人間、暮らし、人権、価値観、愛、互いの尊重」という黒田ワールドの崇高さを、みんなで再確認することができました。参加者の何人もの方が「今日の集まりは素晴らしかった」と口々に言われて帰られました。パネラーのみなさん、会場からご発言いただいたみなさん、そして会場の内外から心を寄せていただいたみなさん、本当にありがとうございました。

黒田さんが最後まで「やり残したことがある」と言われていた思いを、受け止めなければなりません。被災者に寄り添うこと、支援のネットワークをつくること、後継者の育成に励むことなど、これからも黒田さんと一緒に努力していきましょう。なお、黒田さんは12月に「弁護士会人権賞」を受賞されました。黒田さんに最もふさわしい受賞です。黒田さん、おめでとう！

しみん基金・こうべ理事

室崎 益輝

(ひょうごボランティアプラザ所長)



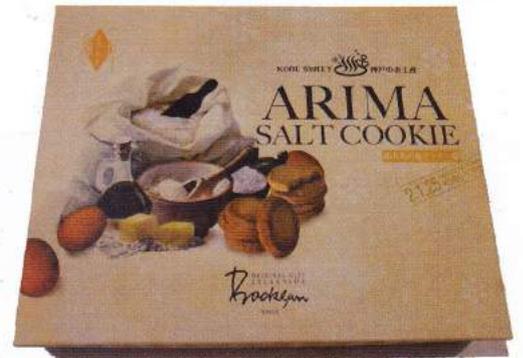


このクッキーは、有馬の金泉からとれる塩を使っています。兵庫県の醤油と、香川県の金ゴマを使った「金ゴマ醤油（写真上）」ともち米いりの「銀シャリ塩」（写真下）があり、各5枚ずつ10枚入りで1080円です。年明け以降、神戸大丸店、阪神梅田店、新大阪駅構内店でも販売される予定です。

当初、昨年秋ごろチーズ菓子を寄付つき商品として販売する計画でしたが、ボックサンの社長であり、当基金の理事でもある福原さんの、もつと日持ちがして、長くみなさんに愛されるお菓子に、とのお考えで、クッキーに変更いたしました。

ニュースレター33号でご紹介いたしました、寄付つきお菓子が、この度ようやく完成いたしました！神戸で51年にわたり愛されてきた洋菓子店ボックサンのご協力により、「有馬の塩クッキー」を11月23日（月・祝）から、ボックサン各直営店にて販売されることになりました。

お待ちせしましたー！
寄付つきクッキー
発売開始しました



「有馬の塩クッキー」は、売上の3%が当基金への寄付となり、当基金の公開審査会をへて、神戸地域の市民活動団体への助成金として使われます。ほっと一息のブレイクタイムに、神戸のお土産ものに、是非ご購入をお願いいたします。

平成27年度助成事業公開審査会を実施



10月30日(金)、平成27年度助成事業公開審査会を実施いたしました。

43件の申請の中から書類審査を通過した19団体がプレゼン、質疑応答を行いました。1団体5分という限られた時間で各団体が熱く発表されました。

続いて審査員による公開投票が行われました。一般枠は上位3団体が決まり、その次に4団体が同票で続くという混戦となり、2度目の投票が行われました。特定枠は、エントリーした団体への助成承認を問う形となりました。最終的な結果としては、下記の団体に助成することが決定しました。

最後の講評では、審査員から「当事者団体が頑張っていた。当事者が元気になろうと立ち上がるのが本来ではないだろうか。この場で各団体の関係性がつなげていければいい。」

「この事業が継続し、発展していく具体的な方法が申請書に表れているかを見るようにした。サービスをしている限り急にやめることはよくないので、サービス自体で収益をあげていくことを難しいこともあるとは思いますが、考える必要がある。」

「一般枠は、今日来られている団体の活動が統合できればいいのでは。」と言った意見が出されました。



助成対象団体紹介

<一般枠>

団体名	事業名	事業概要
自立生活センター リングリング	障害者の地域生活を支えるためのエンパワメント事業	ピアカウンセリング講座や自立生活プログラム、障害者リーダー育成講座、イベントなどを行うことで、障害者も健常者も共に地域で暮らしていくことを目指す。
FOP明石	難病と闘う患者とその家族との交流会	全国のFOPを中心とした難病患者及び患者家族の交流会と、京都大学教授等研究者との意見交換会を実施する。
(特活) Peace&Nature	International Nature School 2015 バイリンガルで学ぶ環境プログラムの制作と普及事業	バイリンガルの環境プログラムを制作し、コミュニケーション能力のあるグリーンリーダーを育成する。
(特活)兵庫県子ども文化振興協会	ホッとアートプレゼント事業	兵庫県内の病院の小児科病棟で、長期入院の子どもたちを対象に、人形劇やパントマイムなどプロの講演を行う。

<特定枠>

団体名	事業名	事業概要
(特活)しゃらく	東日本大震災復興支援「古民家再生バスツアー」事業	石巻市の古民家再生のためのボランティアを神戸から送るツアーおよび参加者の交流会を実施する。
東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream	東日本大震災における避難者の現況を伝え続け、その経験を今後の防災、減災、災害時における人権擁護の観点から教訓として生かしていく活動	避難当事者による、ブース隊、おはなし隊、音楽隊などを実施し、伝える手法を新たに考案する。
避難者と共に歩む神戸の会	避難者グループの自主活動の後方支援	避難当事者が行う「べこっこMaMa」の事務局業務を行う。
アトリエ太陽の子	絵画を通じた東北支援活動 招福干支の色紙絵を描こう会	被災地、集会所などでの「第四回招福干支の色紙絵を描こう会」の実施及び、神戸・気仙沼復興会議を実施する。

阪神淡路大震災20年企画

黒田裕子さん 追悼フォーラム

11月21日(土)こうべまちづくり会館で、「黒田裕子さん追悼フォーラム」が開催されました。

このフォーラムは、18団体からなる実行委員会形式で開催されました。当基金は実行委員会の事務局を務めました。フォーラムでは、黒田さんの活動の軌跡を振り返りつつ、彼女が発信してきたメッセージを、どのように未来に継承していく

のかをテーマに、基調講演を室崎益輝さん(ひょうごボランティアプラザ所長)に行つて頂き、その後のパネルディスカッションでは、引き続き室崎先生にコーディネーター&コメントーターをお願いして、酒井明子さん(福井大学医学部教授)、佐野淳也さん(しこくソーシャルデザインラボ代表)、津久井進さん(芦屋西宮市民法律事務所弁護士)の3人にご登壇いただきました。

黒田さんの活動は、たくさんの方の分野にまたがり、未来へ継承していくべきことはたくさんあるのですが、共通していることは、

- 現場での実践に基づいて発信していくこと、
 - 支援を必要とされている方ひとりひとりに寄り添い最後まで見守ること、
 - そのような支援をする人を支えるネットワークをつくっておくこと、
 - 人材を育成することの大切さ
- これら4つのことを、このフォーラムでは共有できました。

当日会場は満席になりました。また当日参加できないにも関わらず、賛同金をお寄せいただきました。ご参加、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。



こうべウォーク

恒例のあいウォークの季節となりました。あなたの心のこもった「あい」を少しかうべのボランティア活動に分けてください。今年もご参加をお待ちしています。

【開催概要】

- 主催…こうべあいウォーク2016実行委員会
- (特活)神戸まちづくり研究所・神戸復興塾(認定特活)まち・コミュニケーション(認定特活)しみん基金・こうべ
- 協力…近畿労働金庫地域共生推進室
- 開催日…2016年1月10日(日) ※雨天決行
- 募 金…千円から (※お気持ち次第で結構です！)
- スタート…受付9時半から10時まで 随時出発
- 大園公園(JR鷹取駅南東徒歩5分)

※全行程4kmほどを、スタート地点で配布される地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いていただけます。途中随所で地元ボランティアの方による解説を聞くことができます。

ミッションをベースにした

ハンズオン型NPOマネジメント支援事業開催中

今年で3年目となるマネジメント支援事業が開始しました。集合研修と個別訪問からなる「中期計画をつくろう」講座は、今年度も4団体が受講中です。また、昨年度受講4団体のフォローアップのための個別訪問も4回実施する予定です。

【開催概要】

- 日 時…2014年10月13日(月・祝)～2015年3月19日(木)
- (この間に、講座を5回、個別訪問を5回行います。)

- 場 所…講座は、しみん基金・こうべ事務所
- ※個別訪問は、受講各団体の事務所等



平成26年度助成団体成果報告会実施

12月11日(金)14時より、コミスタ神戸において平成26年度助成の対象団体の成果報告会を開催いたしました。



26年度助成対象の9団体中、7団体が出席され、27年度助成対象団体や一般参加者など、約40名の方々に対して1年間の成果をご報告いただき、審査員や理事からコメントがありました。

報告に続き、しみん基金・こうべ特別賞の贈呈式を行いました。

今回は、27年度公開審査会へのエントリー団体の中から、居空間R.O.C.O.C.O.さんに贈呈いたしました。

審査員長の森崎さんから、「この場では、さまざまな活動から、いつもいろいろなことを教えてもらっている。そろそろみんなまで資金を循環させる仕組み、基金に資金を提供できる仕組みをつくっていいところではないか。近畿タクシーも考えていくので、みなさんも考えてほしい。」とのコメントがあり、その後の交流会でも、地域でお金を回していく仕組みについて意見交換をいたしました。これもれどあわじ交流館さんからは、当基金の関係での宿泊は宿泊費千五百円のうち五百円を当基金に寄付する仕組みにしてもいいという



最後に理事長の戎からは、「当基金は財団ではなく、脆弱なNPOであり、草の根が草の根を支援するのは枯渇しつつある。寄付をすることも市民活動という意識を広め、関係を広げていく中でしか草の根で基金を続けていくことはできない。」また、副理事長の村井からは、「活動が人を育てる。活動が人と人をつなげ支え合う。地域で資金がまわるには、お互い様という意識を持ち、自ら工夫しなければならぬ。20年前に1本のタオル運動をはじめた。タオルを1本ももらう時に10円も付けてくださいというものが、少しのお金を少しずつ循環できるような仕組みを21年目に作りたい。ボランティア経済圏として、市民のお金で市民活動をする仕組みをつくらなければならぬ。」との挨拶で締めくくられました。

ユニークなご提案もいただきました。

最後に理事長の戎からは、「当基金は財団ではなく、脆弱なNPOであり、草の根が草の根を支援するのは枯渇しつつある。寄付をすることも市民活動という意識を広め、関係を広げていく中でしか草の根で基金を続けていくことはできない。」また、副理事長の村井からは、「活動が人を育てる。活動が人と人をつなげ支え合う。地域で資金がまわるには、お互い様という意識を持ち、自ら工夫しなければならぬ。20年前に1本のタオル運動をはじめた。タオルを1本ももらう時に10円も付けてくださいというものが、少しのお金を少しずつ循環できるような仕組みを21年目に作りたい。ボランティア経済圏として、市民のお金で市民活動をする仕組みをつくらなければならぬ。」との挨拶で締めくくられました。



認定NPO法人格を取得しました

10月23日(金)に、かねてより準備しておりました、認定NPO法人格を取得することができました。

これにより、今後当基金にご寄附いただきますと・・・



個人では、寄付控除を受けられません。

税の優遇措置を受けるには、確定申告をしていただいて、その際当基金が発行する寄付金受領証明書(＝領収書)を添付して税務署にご申告をお願いします。

小口寄付にも効果のある「税額控除」高所得者がお得な「所得控除」

どちらかお選びいただいてご申告いただけます。



法人では損金算入限度額が増え、一般のNPO法人への寄付と比較して経費にできる寄附額の限度額が大きくなります。



相続人は、相続財産のうち寄附した額が非課税になります。



ホームページからクレジットカードでもご寄附いただけます。この機会にご寄附を、是非よろしくお願いたします。

20年目のひとり言

「スマホやめますか？」

『残念なことです。昨今の信州でもモノやサービスが溢れ始めました。その代表例は、携帯電話です。アニメやゲームなどいくらでも無為に時間を潰せる機会が増えています。スマホ依存症は知性、個性、独創性にとつて毒以外の何物でもありません。スマホの「見慣れた世界」にいと、脳の取り込み情報は低下し、時間が速く過ぎ去つてしまいます。「スマホやめますか、それとも信大生やめますか」スイッチを切つて、本を読みましょう。友達と話をしましょう。そして、自分で考えることを習慣づけましょう。自分の持つ知識を総動員して、ものごとを根本から考え、全力で行動することが、独創性豊かな信大生を育てます。これは信州大学の山澤学長が今年の入学式で新入生に贈ったスピーチの一部だ。

相手に自らの考えを伝えること、相手の考えを對話の中から理解すること。いずれも自らが考え、表現し、伝える力が必要になる。最近の社会で起きる出来事は、どれもこういった能力が欠けていることが起因しているように思う。最近、日本人のコミュニケーション能力の低下が指摘されている。スマホがいろいろなという訳ではなく、利用の仕方次第だということだろう。世の中にはいろんな便利なツールが溢れていく。便利さだけを追い掛けていると人としての心が失われてしまうように思えてならない。今年も残すところ僅かになった。来年は良いニュースがあふれる年であつて欲しいと願いつつペンを置く。

しみん基金・こうべ

専務理事

瀬戸口 仁三郎

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円

団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・FAX・メール等でお名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

★振込口座

三井住友銀行三宮支店

普通 7965892

みなと銀行本店営業部

普通 1597921

近畿労働金庫神戸支店

普通 4161854

郵便振替

00990151157334

口座名義すべて「しみん基金・こうべ」

下記URLよりクレジット決済も

ご利用頂けるようになりましたのでご利用ください。

<http://kessai.campain.in>

<http://org/shiminkinikobe/>

当会ホームページからアクセスできます！

また、期限切れ間近などの使わないTポイントでも1ポイントからご寄附いただけます。当会ホームページのトップページにある「YAHOO! ネット募金」のアイコンをクリックして、詳細をご覧ください。

会員数のご報告

◆正会員

◆賛助会員

個人34名 団体3 団体
個人42名 団体13 団体
(2015年11月末現在)

◆寄付のご報告

◆寄付・募金合計金額

百30万千66円

◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

中島 秀男、飛田 雄一、瀬戸口延恵

井上田紀子、猪本郁、山田剛司、

土居和弘、オレンジスリフティ、

(一財)敬愛まちづくり財団、ヤフー(株)

(特活)セブン・ゼネレーション、

(有)ボックス募金箱、ひまわりボランティア

以下黒田裕子追悼フォーラム賛同金指定分

東日本大震災・暮らしサポーター隊、

(特活)ゆいまーる神戸、神戸復興塾、

日本死の臨床研究会近畿支部、

関西学院大学災害復興制度研究所、

(認定特活)コミュニティ・サポーターセン

ター神戸、生活協同組合こうべ、

神戸芝居カーニバル実行委員会、

阪神高齢者障がい者支援ネットワーク、

被災地NGO協働センター、

(特活)CODE、(特活)災害看護支援

機構、中野朝恵、青山幸嗣、竹村和子、

成瀬かおる、南裕子、島田誠、井上利恵、

窪田直美、西岡潤二、八杉壽代、佐藤恵、

濱野陽子、吉川ゆき江、早瀬美智子、

高平耕平 他1名

(2015年7月～11月)

※皆様方からの貴重なご厚志に

感謝申し上げます。

10月に認定法人格が取得

できてから、公開審査会、黒田

さん追悼フォーラム、ボックスサンの

寄付つきクッキー販売、成果報告会

とイベントなどが目白押しで、マスコミ

にもたくさん取材いただき、怒涛の秋で

した。もう1年が終わるのですね…年ごと

に1年が過ぎるのが早くなります…

今年もご支援いただきありがとうございます。

よいお年をお迎えください。(と)